

参考

地域経済循環創造事業交付金 応募事業一覧（5月10日締切分）

（単位：千円）

団体名		事業名	交付予定額	融資予定額	金融機関	地域課題	事業概要	新規性・モデル性・公益性	
1	兵庫県	-	香住高校生と連携した商品開発と安全・安心な但馬産水産物の供給力強化事業	4,360 (国費 2,180 地方費 2,180)	4,360	なぎさ信用漁業協同組合連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の地域外流出 ・地域内GDPの減少 ・ズワイガニを除く水産物資源の知名度低迷 	<ul style="list-style-type: none"> ・香住高校と連携した水産加工商品の開発により、若年層をターゲットとして消費拡大を目指す ・販路拡大の中で、知名度の高いカニのみならず、ホタルイカ等のブランド価値を高め、通年での観光客獲得を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発段階で地元高校生が参画し、若年層に訴求する商品開発を目指す ・直接商品開発に携わることや、郷土料理等の地域固有の文化に触れる教育を通じ、郷土愛を育む機会を提供する ・観光地域における地域資源の活用促進と若者の域外流出防止を同時に実現するモデルケースとなりうる
2	徳島県	美馬市	うだつの町並み周辺古民家等活用支援事業	37,900 (国費 37,900 地費 0)	77,000	株式会社阿波銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の増加 ・歴史的町並みの景観保全 ・観光客が「通過型」であり滞在時間が短い 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴う空き家の増加により歴史的町並みの景観を損なう等課題が深刻化する中、古民家を取得し、ホテル飲食店を整備 ・創業希望者に対して、管理物件を貸与し、テナント収入を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的町並みの景観という地域資源を活かし、不動産の再開発と同時に創業支援を行うことで、空き家の減少と既存観光業の強化の両立を図る ・空き家再生により宿泊施設等の滞在施設を整備することで、観光客の滞在時間の長期化を図るほか、今後のインバウンド需要拡大も含め、「通過型」の観光から「滞在型」の観光地化へ、戦略的転換へ貢献 ・単に管理物件を貸与のみならず、市外からの創業希望者に対しては、市、金融機関と連携し支援するほか、店舗プロデュース、メニュー開発などのノウハウ提供を実施
3	愛媛県	今治市	瀬戸内しまなみ海道サイクリスト総合サービス事業	24,000 (国費 12,000 地方費 12,000)	24,000	えひめ地域活性化ファンド投資事業有限責任組合	<ul style="list-style-type: none"> ・島しょ部における2次交通手段の不足 ・観光資源であるサイクリングロード「しまなみ海道」の環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・全長70キロのサイクリングルート「しまなみ海道」の中間地点に宿泊、食事、リタイヤ支援などの機能を有するサイクリスト向けの複合施設を整備 ・複合施設内では、農作物等の地場産品を活用したジビエ料理等を提供 ・サイクリスト向け自転車運搬用タクシー、海上タクシーの運行により、レンタサイクル利用者等の利便性、満足度向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設を通じ、サイクリストに質の高いサービスを提供することで、交流人口の増加、賑わいを創出。高付加価値のコテージからとにかく安く泊まれるドミトリーといった多様な宿泊施設を提供 ・飲食コーナーでは、有害獣のイノシシや販売ルートに乗らない農作物を活用したジビエ料理等を提供し、地場産品の魅力を発信 ・しまなみ海道の魅力を活かした海上タクシーといった2次交通手段の確保による魅力、満足度の向上により、交流人口を拡大 ・魅力的な食の提供、無料休憩所の開放、観光情報発信等を通じ、サイクリストと地元住民との交流機会を提供するほか、魅力的なアクティビティや宿泊施設を通じ、観光客の滞在時間を伸ばし、地域内消費の拡大に繋げる
4	兵庫県	朝来市	空き工場活用による地場産業の技術存続を目指す「ローカル生産ネットワーク」プロジェクト	25,000 (国費 16,666 地方費 8,334)	25,000	但馬信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の地域外流出 ・雇用の確保 ・ばね事業の衰退 	<ul style="list-style-type: none"> ・休業しているばね工場を再整備し、後継者不足で廃業になる地域の町工場の職人等を採用し、各現場の技術を集積する ・その技術を用いて新たな品質の良いばねを製造していくことで朝来市のばねをブランド化していく ・また、若手社員を雇用して受け継がれてきた技術を継承できる環境を整え、後継者を育成する等雇用促進につなげる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ばね事業のような個人事業主が多い分野において、固有の技術を集約して地域全体のブランドとして再結集させる試みは、今後の町工場密集地域における地域活性化の方針として有用なモデルケースの一つとなりうる ・技術継承を行うために若手職員を雇用することから、地元における雇用の確保が見込まれるほか、人材育成の好循環により、産業の持続可能性が高まる。 ・Uターン者に対しても雇用先を用意すべく運営体制の強化を図る